

姉崎地区		
世帯数	14,001	世帯
人口	29,918	人
男	15,630	人
女	14,288	人
平成27年11月1日 現在		

# そよ風

発行  
 姉崎地区社会福祉協議会  
 事務局 姉崎保健福祉センター内  
 市原市椎津1131  
 TEL.0436(62)8601



白塚町会では、遊び亭酔生さんの落語で大盛り上がり！ 9月20日実施

## 姉崎地区敬老会 それぞれの会場で創意工夫



姉崎小学校4年生による「よさこい村」姉崎会場



沖縄舞踊で最高潮 姉崎会場

姉崎会場は9月20日実施



# 今年も笑顔



明神囃子で開幕 姉崎会場



毎年人気の安木節 白塚町会



柏原町会の元氣な皆さん 9月20日実施

今津朝山町会では手品の余興と共に振込詐欺防止の注意を呼びかけ... 10月18日実施



# 敬老会



プロの歌手も熱演！



青葉台会場では青葉台小・姉崎東中・姉崎高校合同の演奏会が11月8日実施



養老町 金谷 信さん



## この方にお聞きしました

いつも姉崎地区社会福祉協議会の行事に参加してくださっている金谷信さんにお話を伺いました。

金谷さんは大正7年生まれの97才、3年前に奥様を亡くされ、現在は一人住まいです。元気な毎日を送りながら、敬老会にも毎年参加されています。若い頃は幅広い趣味の持ち主で、囲碁・将棋のほかアイススケート・スキー等も楽しみました。抑留による過酷な体験を経て、復員後は企業経営者として数々の荒波を乗り越えてきました。「何があっても止まらぬはタメ、進まないといけない」これが金谷さんが苦難の時代に学んだ哲学でした。そんな金谷さんが最近心がけていることは、身近な人に迷惑をかけること。そのためには健康が一番、健康診断は必ず受診しホームドクターも決めていきます。

食事は栄養バランスに気を付け、朝食はパン・牛乳・ヨーグルト、夕食は宅配サービスを頼んでいます。自分で食材を選び、調理することもあります。タバコは10年程前に止め、今は日本酒一合の晩酌が楽しみです。週2〜3回の散歩を心がけており、新聞には毎朝必ず目を通します。

また毎月の会食と茶話会には、片道30分ほど歩いて参加します。おいしい食事と仲間との談笑は、金谷さんの健康の元。敬老会も毎年楽しみにされていますが、「これからの時代、私達だけが良い思いをしてはダメ。限られた予算を、広く社会に役立ててもらいたい」と考えているそうです。まさに激動の昭和を乗り越えてきた企業人。その気概は今も健在です。(11月16日取材)

地域だより 千種地区

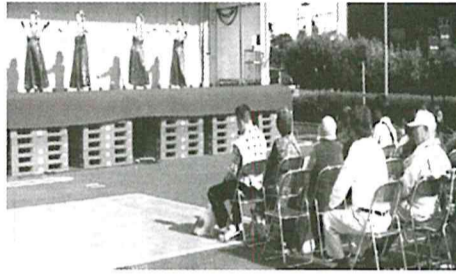
千種コミュニティーフェスティバル

10月31日(土)から2日間、千種コミュニティーセンターで第8回フェスティバルが開催されました。目で楽しむ芸術や各サークルの発表、食の楽しみでは十一町会のボランティアの方々の作るカレーライス、焼きそば、焼き鳥、フランクフルトなど。子ども達はゲーム(輪投げ、新米釣り、射的等)に夢中!



千種中の生徒もお手伝い

2日目はフリーマーケットも出店、又献血車も来て、多数の方が献血に協力していただきました。最後は、お楽しみ抽選会、当たった人は嬉しそう! 外れた人はまた来年!



姉崎社協 門前市に初めて出店

秋晴れの11月1日(日)、姉崎忠霊碑周辺特設会場で秋の風物詩第13回姉崎門前市が開かれました。ステージでは演舞姉小よさこい村やバンド演奏など盛沢山の演技が行われていました。模擬店では、例年のように、数多くの店が参加してました。姉崎地区社会福祉協議会の模擬店も参加。オレンジ色と白のひときわ目立つテントの前でスタッフが一生涯懸命に呼び込みをしている姿が印象的でした。メニューは鳥下せ、お汁粉、



いちじくのワイン煮、焼酎等格安で販売していました。最高の天気にも恵まれたので出足は上々、売れ行きも上々、スタッフもご機嫌顔。取材に行った私もお汁粉を食べ、いちじくのワイン煮を買って協力させていただきました。

いちほら生活相談サポートセンター開設

生活に困ったら、一人で悩むより、まず相談! 市では、生活に困窮している人の自立を支援するために『いちほら生活相談サポートセンター』を開設しました。借金や病気などで生活に不安がある時は、早めに相談してください。支援員が一人一人に向き合って適切な支援が受けられます。問題がこじれる前に早目に相談しましょう。(無料)

問い合わせ先 電話 0436-37-3400 相談日時 月~金 8:30~17:30 住所 東国分寺台 3-10-15



ハンカチブローチを通してのミニ集会

更生保護女性会姉崎支部

10月20日(火)ミニ集会在アネッサの研修室で行われました。今回はUホールで行われる福祉バザーに出品する為の一品として、ハンカチブローチ作りを実施しました。「針と糸を使うのは久しぶりだわ」と和気あいあいに、5、4、3センチの布をたたんで縫い、花びらの形にして台紙に張り合せていきます。作業をしながら、更生保護女性会が日頃行っているボランティア活動を理解していただくために、明るい社会作り運動や、矯正施設の訪問、諸行事への参加、更には危険薬物に対する怖さ等を話題にさせていただきました。参加者一人一人ががんばって作り上げ、会場は達成感と安堵感で笑顔に包まれました。新たなミニ集会所として、充実した一時を過ごすことが出来ました。



福祉バザー

11月3日

446,225円

例年より品数もちよっと少な目でしたが多くの方々に来られ大盛況。収益金は歳末助け合い運動に寄付されます。



悪質商法に困っている方はおられませんか? 市では相談窓口を設けています。是非ご相談ください。ステッカーも用意しております。

悪質商法にご用心 困ったときは、下記の相談窓口へ

Table with 3 columns: 相談窓口, 名称, 電話番号, 受付時間. Includes entries for 市原市消費生活センター, 消費者ホットライン, and 市原警察署.

まずは一人で悩まず、できるだけ早く相談窓口へ連絡をしましょう

チーバくんとオッサくんがきました!

「子育てサロンわくわく」は、毎月第3金曜日の10時30分から姉崎公民館研修室で開催しております。10月は、姉崎公民館体育室で市原市のマスコット、オッサくんとチーバくんが応援にきてくれました。ベビーちゃんから未就園児、その保護者とサロンの部員・お手伝いの方、みんなで体を動かし童心にかえって遊びました。チーバくんは知名度も高くすごい人気でした。風船プール・紙ヒコーキ・ペンシルバルーンなど趣向をこらしたいろいろな遊具遊びをし、広い場所で大きな声がいっぱいに響きわたりました。息抜きがてら遊びに来てくださいね!



アネッサ・新任ソーシャルワーカー穴澤です

10月から、アネッサに勤務することになりました穴澤有紀と申します。辻ソーシャルワーカーと共に姉崎地区を担当することになりましたのでよろしくお願いいたします。人との出会いに感謝をし、一人ひとりの住民の声に耳を傾け、寄り添える支援が出来るよう皆様と一緒に地域の課題に取り組んでいきたいと思っております。未熟者で至らぬ点もありますが、一人でも多くの皆様が安心して笑顔で暮らすことが出来るよう、精一杯努力をいたします。



編集後記

「そよ風」で初めて編集作業に携わることになった。年2回の発行で姉崎地区社会福祉協議会の諸活動をお知らせするのは難しい作業と感じました。紙面の不足をカバーするため多くのスナップ写真をもとに利用し、見やすくわかりやすい紙面づくりを目指しています。今回の記事は印象に残るものとなっておりますでしょうか。

「寄付」

ありがとうございます

三陶会様

5,000円

